



学校だより

平成30年 1月31日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 山下 浩
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
943-0802・0803

自分の役割

副校長 高橋 美都子

大寒から立春にかけての1年で一番寒い時期となりました。学校では1月中旬からインフルエンザが流行し、欠席の児童が増え、学級閉鎖となったクラスもありました。現在は大分終息に向かっていますが、まだまだ油断はできません。引き続き「手洗い」「うがい」の励行と、体調管理を呼びかけていきたいと考えています。

さて、朝、学校周辺を見回っていると、出勤前のお家の方と一緒に集積所までごみを運んでいる子を見かけます。夏の暑い日も冬の寒い日も行なっているので、お家での役割となっているのでしょう。お家の方と楽しそうに話しながら歩く姿に、しっかりと役割を果たしている様子がうかがえます。

自分の役割を理解し、責任をもって果たしていくことは、学校生活でも社会に出てからも大切なことです。学校の教育活動の中では、キャリア教育という視点にかかわってくる分野です。キャリア教育とは、「児童生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てる教育」です。小学校の間の目標として「自己及び他者への積極的関心の形成・発展」「身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上」「夢や希望、憧れる自己イメージの獲得」「勤労を重んじ目標に向かって努力する態度」が挙げられています。小学生には「勤労観、職業観」という言葉は馴染みにくいかもかもしれません。が、目標をみると、普段の学校生活の中で行われていることばかりです。学級での係活動や高学年の児童が取り組んでいる委員会活動はまさに、「身の回りの仕事」であり、より良い生活を送るための「勤労」となります。その中で友達や他学年の仲間とかかわったり、身の回りのことを自分事としてとらえてより良くしていきたいと意欲をもったりすることや、頑張っている友達に「ありがとう。助かるよ。」と声をかけて協力しながら活動することで得る、自己肯定感や自己有用感は子どもたちの成長の糧となります。「自分の役割」が子どもを育て、役割を果たしている姿をしっかりと認めていくことの大切さを感じる朝の一コマは、微笑ましく、また、改めて日頃を振り返るきっかけとなっています。

学校は学年末に向け、まとめの時期に入ります。年末に実施した「学校評価アンケート」でいただいたご意見は、来年度の学校経営に生かしていきたいと考えています。また、2月15日には「まちの学校づくり懇話会」を開催し、地域・保護者代表の皆様からもご意見をいただく予定です。そして、保護者の皆様には、ホームページで今年度の教育活動の振り返りと来年度の方向性をお伝えいたします。

6年生は卒業に向けての取組が始まっています。また、1年生から5年生までは新しい学年に進級する期待をもち、心構えを身につけられるように職員一同が協力して活動に取り組んでいます。冬から春へ。子どもたちも学校も一年の振り返りを行い、新年度に備えていく時期を迎えました。今月も学校教育活動へのご支援とご協力をお願いします。